



- MSCI ジャパンIMIカスタム高流動性高利回り低ボラティリティ指数のパフォーマンスをおおむね市場のパフォーマンス(MSCIジャパンIMI指数に調整係数をかけたリターン)でヘッジする、「MSCIジャパンIMIカスタムロングショート戦略85%+円キャッシュ15%指数」との連動を目指すETF(上場投資信託)です。
- 国内組成のETFであり、通常の株式と同様に全国の証券会社にてお取り扱いしています。

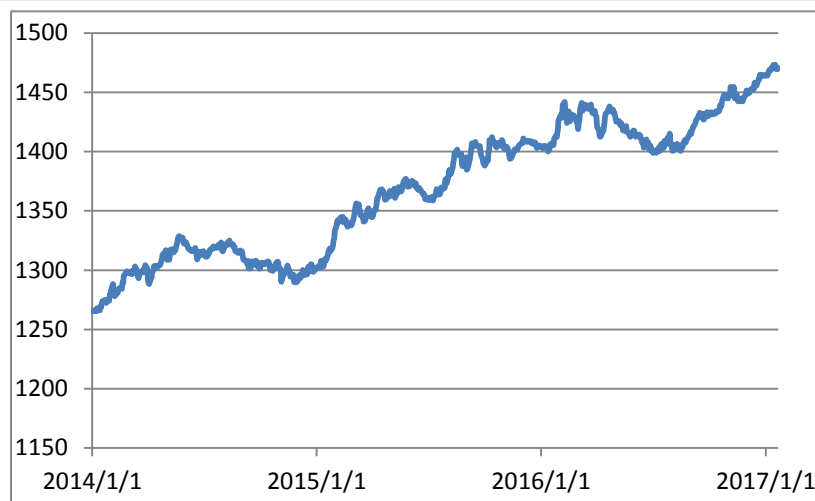
1. 上場インデックスファンドMSCI日本株高配当低ボラティリティ(βヘッジ)の概要

(2017年2月20日 現在)

銘柄名	上場インデックスファンドMSCI日本株高配当低ボラティリティ(βヘッジ)		
銘柄コード	1490		
対象指標	MSCIジャパンIMIカスタムロングショート戦略85%+円キャッシュ15%指数		
計算期間	毎年1月9日～4月8日、4月9日～7月8日、7月9日～10月8日、10月9日～翌年1月8日		
分配金支払基準日	毎年1月8日、4月8日、7月8日、10月8日(年4回)		
管理会社	日興アセットマネジメント株式会社		
信託受託会社	三井住友信託銀行株式会社		
上場取引所	東京証券取引所	貸借銘柄選定	あり(金銭・証券の貸付)
売買単位	10口単位	iNAV/PCFの開示(※)	あり(予定)
信託報酬	0.45%(税込;0.486%)以内	上場日	2017/3/13(予定)

※ iNAVとは、PCF情報に現時点の株価を乗じることによって算出されるリアルタイムの推定純資産額(1口あたり)、PCFとは、管理会社よりご提供をいただいたポートフォリオ構成銘柄情報ファイルのことを指します。ここでは東証を通じて開示しているiNAV/PCF情報の有無を記載しています。

2. 対象指標の推移 (2014年1月1日～2017年1月20日)



■ 対象指標の騰落率

期間	対象指標
過去1ヶ月	+0.63%
過去3ヶ月	+2.26%
過去6ヶ月	+4.64%
過去1年	+4.61%

3. 投資対象について

MSCIジャパンIMIカスタムロングショート戦略85%+円キャッシュ15%指数に採用されている銘柄の株式に投資を行うとともに、株価指数先物(TOPIX先物取引など)の売り建てを行います。

4. 対象指標の概要

MSCIジャパンIMIカスタムロングショート戦略85%+円キャッシュ15%指数は、MSCI ジャパンIMIカスタム高流動性高利回り低ボラティリティ指数のパフォーマンスに対し、MSCIジャパンIMI指数のパフォーマンスの反数にベータ値を掛け合わせることでベータヘッジを行い、MSCI ジャパンIMIカスタム高流動性高利回り低ボラティリティ指数のリターンとMSCIジャパンIMI指数のリターンの差分を指数化したものです。

5. マーケットニュートラル指標の特徴及び留意点

【マーケットニュートラル指標】

マーケットニュートラル指標とは、ある特定の指標（以下「原指標」）に連動する投資ポートフォリオに関し、一定の基準に従い、市場リスクをヘッジするショートポジションを組み合わせる投資戦略の収益を表す指標です。一般的にエンハンス型指標（一定の投資成果を実現するための投資戦略を表現した指数）の一種とされています。

【マーケットニュートラル指標の特性】

原指標が、広範な市場を参照した時価総額型の指標（以下「一般的な指標」）ではなく、何らかのルールに基づき銘柄選択や組み入れ比率の調整をしている場合（所謂「スマートベータ指標」等の場合）、一般的な指標に対する超過収益（アルファ＝ α ）が相応の水準で生じる事が期待されます。

この超過収益部分を抜き出してパフォーマンスを計測する事を目的とした指標です。

【ベータヘッジに伴うリスク】

株式に投資を行なうとともに、株価指数先物取引（TOPIX先物取引等）の売り建てを行っており、株式市場全体の変動から生じる影響を抑えること（ベータヘッジ）をめざしているため、株式市場全体の上昇がファンドの収益要因とならない場合があります。

株式投資の収益が株価指数先物取引による損失より小さい場合、または株式投資の損失が株価指数先物取引による収益より大きい場合には、基準価額が下落する要因となります。特に、株式投資において損失が生じると同時に株価指数先物取引においても損失が生じた場合には、基準価額が大幅に下落する要因となります。

6. ETF情報入手一覧

- 当ETFに関するより詳細な商品概要
「日興アセットマネジメント株式会社 ETF専用ホームページ」<http://www.nikkoam.com/products/etf/>
- 一口あたりの純資産総額、対象指標との乖離率等
(注) 検索される場合には、検索条件に検索コード「13084」を入力してください。
「適時開示情報閲覧サービス」<http://www.jpx.co.jp/listing/disclosure/index.html>
- 情報ベンダーコード

情報ベンダー名	QUICK	Bloomberg	Thomson Reuters
ETFコード	1490/T	1490 JT Equity	1490.T
対象指標	-	MXCXNKA	-

- MSCIジャパンIMIカスタムロングショート戦略85%+円キャッシュ15%指数の算出要領
<https://www.msci.com/documents/1296102/0/MSCI%E6%8C%87%E6%95%B0%E3%83%91%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%A0%E3%83%83%E3%83%88+%28iShares+ETFs%29.pdf/58492f4a-6c8c-4c48-8287-501a1ce59cdc>

7. 免責事項

- 当資料は、作成時におけるETFの概要説明のみを目的としており、投資勧誘を目的としているものではなく、また金融商品取引法に基づく開示資料ではございません。
- ETFは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、連動対象である指標及び外国為替相場の変動、組入る有価証券等の価格の変動、組入る有価証券等の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の市場要因の影響等により、市場取引価格又は基準価額が値下がりし、それにより損失が生じることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではありません。また、信用取引を利用する場合には、差し入れた保証金以上の損失が生ずるおそれがあります。
- ETFの売買を行われるに際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、販売手数料、信託報酬などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。
- 当資料は、2017年2月現在の内容です。その以後、制度の改正等により、当資料に掲載した内容が予告なく変更される場合があります。また、この資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。当社は、当資料及び当資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、いかなる目的を問わず、無断複製・転載を禁じます。

<お問い合わせ>

株式会社東京証券取引所 上場推進部 | 〒103-8220 東京都中央区日本橋兜町2-1 | Tel:03-3666-0141(代)